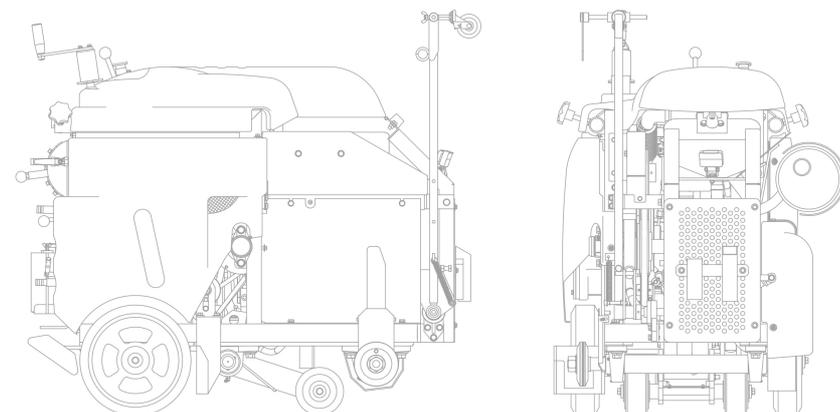


Pina

PINA20V2024 取扱説明書



NAKAYAMA

■はじめに■

この度は、NAKAYAMAの製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

- ご使用する前に、この取扱説明書を**必ずお読みになり内容をご理解のうえ安全にご使用下さい。**
- お読みになった後は、紛失等されないよう大切に保管して下さい。
- 取扱説明書、パーツリスト、トラブルシューティングなど、資料を弊社ホームページでも公開しています。是非ご利用下さい。

<http://www.nakayama-azz.co.jp>

※ 取扱説明書に記載されているイラストが、設計変更により実機と異なる場合があります。

■付属品一覧■

- 新車購入の時、付属する工具箱の中に入っています。

- | | |
|----------------|--------------------|
| ● プラスドライバー | ● ロープ 3.5 m |
| ● マイナスドライバー | (ガイド手動時は付属無し) |
| ● プラグレンチ | ● パーツ表 |
| ● オイルフィルターレンチ | ● 取扱説明書 |
| ● 片口スパナ 36 | ● ホンダエンジン取扱説明書 |
| ● テンショナーロッド | ● 予備ヒューズ 5 A (管) |
| ● メガネレンチ 17×19 | ● 予備ヒューズ 15 A (ミニ) |
| ● メガネレンチ 10×13 | ● 低騒音シール |
| ● 六角棒レンチ 5 mm | |
| ● 六角棒レンチ 8 mm | ● センター給水仕様の時 |
| ● ロープ 3.5 m | ● 片口スパナ 41 になる |
| (ガイド手動時は付属無し) | |

* ご使用の前に、工具箱の中に付属品が全て揃っているかを確認して下さい。

目次

- はじめに
- 付属品一覧

1. 嚴重注意事項	1
・ 周囲への安全確保	1
・ 引火・爆発の危険性	1
・ 狭小地での操作	1
・ チェンジレバー操作	2
・ 排気ガス（一酸化炭素）中毒及び酸欠事故	2
・ 機体の積み込み・積み下ろし作業	2
・ 機体の吊り上げ	2
・ 保管及び稼働	3
・ 機体の改造	3
・ 機体の使用	3
・ 回転部の危険性	3
2. 保証規定	4
3. 各部名称	5
・ メーターパネル	5
・ 機体	5
4. 警告灯	6
・ MILランプ	6
・ エンジン異常診断	6
・ MILランプ消灯	6
・ オイルランプ	7
5. 機体操作	8
・ ブレーキ	8
・ エンジンの始動と停止	8
・ エンジン非常停止	8
・ 前後進	9
・ シフトチェンジ	9
・ 昇降操作	9
・ バキューム装置	10
・ デフロック機構 <オプション>	10

6. 作業前点検・整備	11
・ 各部ベルト	11
・ パーキングブレーキ	11
・ 各部ホース	11
・ エンジンオイル	11
・ フェューエル	11
・ 給油	11
7. 積み込み・積み下ろし・運搬	12
・ トラックへの積み込み	12
・ 運搬	12
・ トラックから積み下ろし	12
8. 切断作業	13
・ ブレードの取り付け	13
・ ブレードカバーを装着する	13
・ 切断ラインに合わせる	13
・ ブレード冷却水の供給と切断汚泥の吸引	13
・ 切断	14
・ 切断後	14
9. 作業後点検・整備・清掃	15
・ バキュームタンク, チューブホース	15
・ ブロアー	15
・ ブレードカバー	15
・ ブレードシャフトねじ部	15
10. 定期点検	17
・ グリスアップ箇所	18
・ エンジンオイル交換	18
11. ベルト交換	19
・ エンジン～ブレードシャフト	19
・ エンジン～HST	19
・ エンジン～カウンターシャフト	20
・ ブロアーベルト	20
・ 減速機～カウンターシャフト	21
12. 長期間使用しない場合	22
13. 長期間放置してしまった時	22

14. トラブルシューティング 23

配線図 25

切断周速表 26

仕様書 27

1. 嚴重注意事項

- 機体に貼り付けてある△表示のラベルは、警告表示です。必ずお守り下さい。



- ・指示を守らないと、死亡又は重大な事故になる可能性が高い為、**禁止事項。**

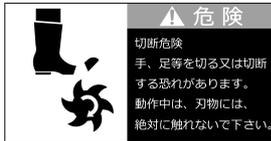


- ・指示を守らないと、死亡又は重大な事故になる可能性がある為、**守るべき事項。**



- ・指示を守らないと、重大な事故になる可能性がある為、**注意事項。**

- 周囲への安全確保



- * 「一般安全警告記号」がブレードカバーに示されている事を確認して下さい。

「一般安全警告記号」

- 引火・爆発の危険性



- * 給油作業は、換気の良い場所で車体を水平にしエンジンを停止してから行い、規定給油量以下での給油をお願いします。給油後はキャップを確実に締めて下さい。
- * 燃料の取り扱いに注意して下さい。給油中は、タバコの火や静電気などで引火又は爆発する恐れがあります。
- * 給油中にこぼれた燃料は、そのままにしないで下さい。こぼれた燃料はきれいに拭き取り、拭いた布は火災に注意して処分して下さい。

- 狭小地での操作



- * 壁際や狭小地で機体の操作や作業をすると、無意識に衣類や体が油圧昇降レバーに触れてしまう事があります。機体の前側が上がり挟まれる恐れがあります。壁際や狭小地では、機体の後ろに立たない等十分注意して下さい。（項目3. 各部名称 ③）

● チェンジレバー操作



- * チェンジレバーの操作は、ブレーキを掛け平坦な場所で行って下さい。勾配のある場所でチェンジレバーを操作すると、逸走する可能性があります。（項目3. 各部名称 ⑳, ㉔）

● 排気ガス（一酸化炭素）中毒及び酸欠事故



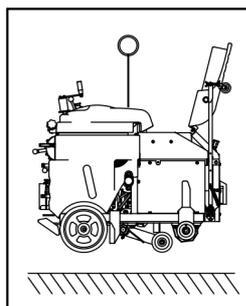
- * トンネル内や室内など、閉鎖空間でエンジン式コンクリートカッターを使用すると一酸化炭素中毒や最悪、死亡する恐れがあります。
（暖機運転でも危険性は変わりません）

● 機体の積み込み・積み下ろし作業



- * 機体の積み込み・積み下ろし作業は、ブレードカバー及びブレードを必ず外し平坦地で行って下さい。
- * 機体の後ろ（操作盤側）に立って作業しないで下さい。ゲートの上に機体がある時は、横から作業するようにして下さい。
- * トラックのパワーゲートを昇降させる時は、必ず機体のエンジンを停止、ブレーキを掛け、チェンジレバーを切断レンジの状態で行って下さい。（項目3. 各部名称 ⑳, ㉔）

● 機体の吊り上げ



- * 点検・整備で機体を吊り上げる際、不安定な吊り方や無理な吊り方をすると、機体の破損・重大な事故に繋がる可能性があります。
- * 弊社指定のワイヤーロープもございます。

● 保管及び稼働



* 保管及び稼働は、第三者が接近しない場所を選んで行って下さい。

● 機体の改造



* 弊社に無断で改造をしないで下さい。それによる事故やトラブルに関して、弊社は一切責任を負いません。

● 機体の使用



* 体調が優れない時や、飲酒されている時は機体の使用をしないで下さい。

● 回転部の危険性



* 回転中のプーリーやベルト、シャフト等には、絶対に手を触れないで下さい。

* 手動ハンドルが利いた状態で、自走を行うと手動ハンドルが回ります。走行速度によっては体に当たった場合、重大な怪我をします。

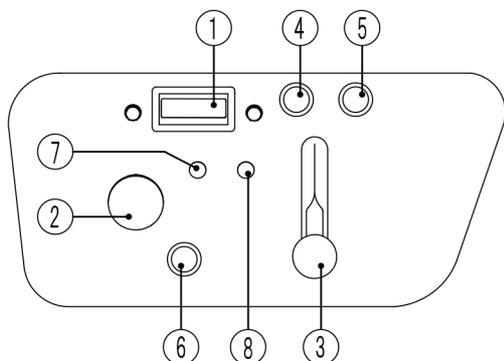
(項目 3. 各部名称 ⑳)

2. 保障規定

- 保障期間として、製品お渡し日より6ヶ月間とします。
- 弊社コンクリートカッター最初のご購入者に対し、品質上又は製造上の欠陥と確認できた場合、部品の交換及び修理を弊社負担とします。転売購入された製品は、保障対象外です。製品のボディカバー等、機能上問題の無い箇所についても同様とします。
- エンジン及び他社が製造する部品等の不具合が生じた場合、当該各製造メーカーの保障規定に従い、その範囲内においてのみ保障致します。
- 保障期間内であっても下記内容に該当する場合は、保障致しません。
 - * ベアリング，ベルト，パッキン等の消耗品
 - * 弊社の了解なく改造等が加えられ、それにより生じた不具合
 - * 天災，過失等により生じた不具合

3. 各部名称

● メーターパネル



① 回転計（アワーメーター機能付き）

*エンジン停止後1分間、アワーメーター表示

② エンジン非常停止スイッチ

③ 油圧昇降レバー

④ ライトスイッチ

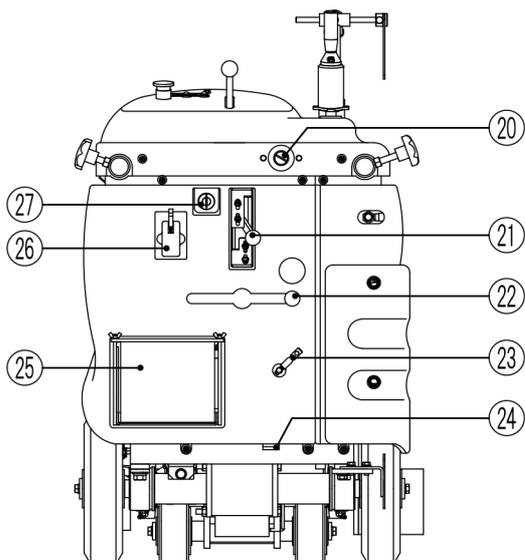
⑤ バキュームスイッチ

⑥ ゲージスイッチ

⑦ MILランプ

⑧ オイルランプ

● 機体



⑳ スロットルボリューム

㉑ 前後進スピードレバー

㉒ チェンジレバー

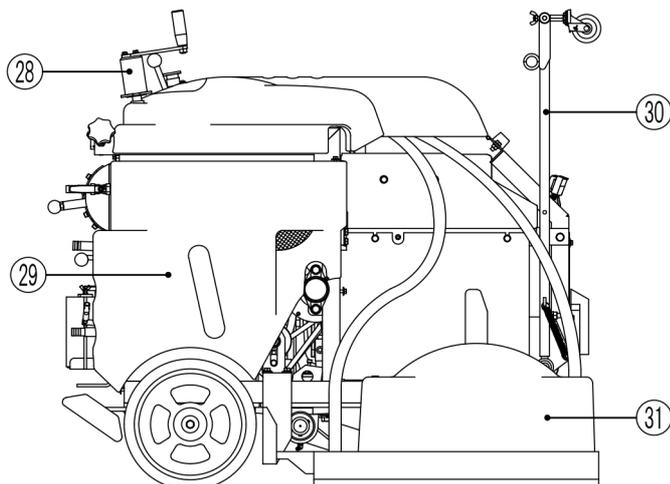
㉓ デフロックレバー

㉔ パーキングブレーキ

㉕ バッテリー

㉖ メインスイッチ

㉗ イグニッションキースイッチ



㉘ 手動走行ハンドル

㉙ ポンプユニット（ボディカバー内）

㉚ ゲージ

㉛ ブレードカバー

4. 警告灯

- 警告灯は、エンジンに不具合が生じた時に点灯します。正常の時は、イグニッション ONで1度点灯しエンジン動作中は消灯します。

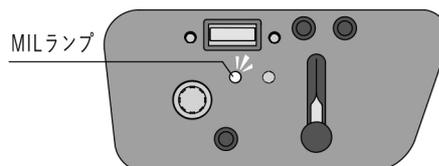
● MILランプ (MIL 緑)

- * エンジンの異常が発生した場合に点灯する。

- * こんな時に点灯

- 例) ・ 吸気圧の異常
 ・ 燃料圧力の異常 (ガス欠等)
 ・ エンジン冷却水の異常

etc



● エンジン異常診断

- * エンジンに異常が発生すると、メーターパネルのMILランプが点滅します。
- * イグニッションONで1度点滅し、その後点滅回数により異常箇所の特定ができます。
- * 点滅回数が確認できましたら、お手数ではございますが仲山鉄工株式会社サービスあるいは、修理業者様へご連絡下さい。

一覧表

点滅回数	DTC	故障箇所
9	0-1	ECU の異常
2	1-1	スロットルモータ の異常
3	2-1	TP センサ 1 の異常
4	3-1	TP センサ 2 の異常
5	4-1	TP センサの異常
6	5-1	IAT センサの異常
7	6-1	TE センサの異常
8	7-1	MAP センサの異常

ECU : コンピュータ

TP : スロットルポジション

IAT : 吸気温度

TE : エンジン温度

MAP : 吸気管圧力

● MILランプ消灯

- * 整備後、エンジンが正常な状態であればバッテリーのマイナス端子を外し再度取り付ける。これによりMILランプは消灯します。

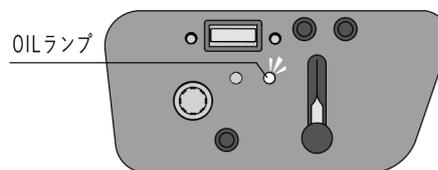
● オイルランプ (O I L 赤)

* エンジンオイルの圧力低下時に点灯する。

* こんな時に点灯

- 例) ・エンジンオイル量の不足
- ・オイルフィルターの詰まり

etc



5. 機体操作

- 機体を操作する時は、周囲の安全を確認して使用して下さい。

● ブレーキ

- * ⑳④パーキングブレーキのペダル部を下方に踏み込めばブレーキが効き、上げれば解除されます。
- * ブレーキが効いた状態で走行すると、走行装置が損傷する場合があります。
- * 機体の停車時又は機体から人が離れる場合は、㉒②チェンジレバーを切断レンジに入れ必ずブレーキを掛けて下さい。

● エンジンの始動と停止

* エンジンの始動

- ・ ㉒④パーキングブレーキを掛ける
- ・ ㉒①前後進スピードレバーを中立位置にする
- ・ 安全の為、㉒⑩スロットルボリュームをアイドル位置にする
- ・ 周囲の安全確認（可動，回転部の接触防止，換気など）
- ・ ㉒⑦イグニッションキーを回し、エンジン始動

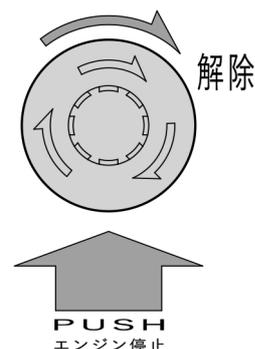


* エンジンの停止

- ・ ㉒①前後進スピードレバーを中立位置にする
 - ・ ㉒⑩スロットルボリュームでエンジン回転をアイドル状態にする
 - ・ ㉒④パーキングブレーキを掛ける
 - ・ ㉒⑦イグニッションキーを回し、エンジン停止
- （オペレーターが機体から離れる時は、㉒⑤チェンジレバーを切断レンジにし
㉒⑥メインスイッチをOFF，㉒⑦イグニッションキーからキーを抜く）

● エンジン非常停止

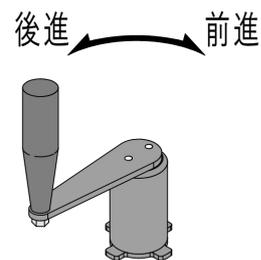
- * 事故発生の恐れがある場合などに、㉒②エンジン非常停止スイッチを押せばエンジンが停止します。スイッチを右に回すと、ロックが解除されエンジンの再始動ができます。



● 前後進

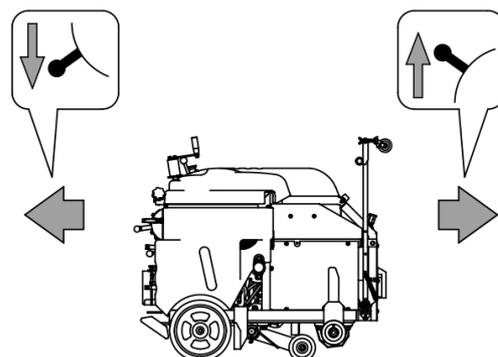
手動走行

- * ②②チェンジレバーを手動レンジにし、ハンドルボスをセットして利かせた状態で②⑧手動ハンドルを右回しで前進、左回しで後進します。



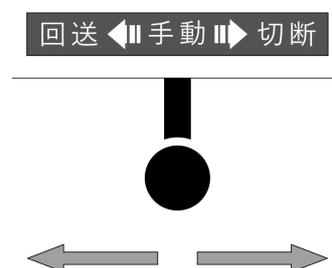
自走

- * ②②チェンジレバーを切断又は廻送レンジにし、②①前後進スピードレバーを上げて前進、下げて後進します。レバーを倒す角度でスピード調節ができます。
- * ②⑧手動ハンドルが利いた状態で自走を行うと、ハンドルが回ります。走行速度によっては高速で回転する為、大変危険です。



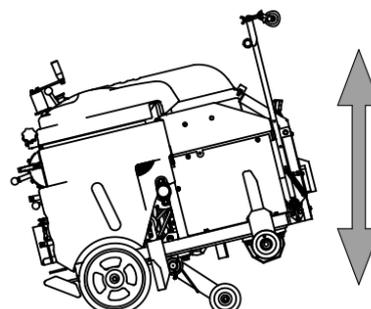
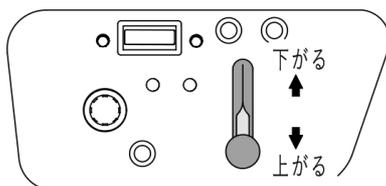
● シフトチェンジ

- * シフトチェンジは、②①前後進スピードレバーを中立位置にし、車体の走行を停止して行って下さい。
- * シフトチェンジは、②④パーキングブレーキを効かせて車体が動き出さないよう十分に注意して下さい。
- * ②②チェンジレバーを使用するレンジ（廻送／手動／切断）に合わせて下さい。



● 昇降操作

- * ③油圧昇降レバーの操作で機体前側を上下させる。レバーを引くと機体前側が上がり、レバーを押すと下がります。



6. 作業前点検・整備

- 機体の始動前に、必ず点検、整備を行って下さい。
- 点検・整備を行う時は、機体及びエンジンが冷めている状態で安全が確保されている事を確認して行って下さい。
- 機体に異常がある場合は、速やかに整備を行って下さい。

* 各部ベルト

- ・ 緩みや摩耗、亀裂がないか確認。ベルトを指で押して10mmほど沈む程度の張りにする。ベルトの張り過ぎに注意して下さい。

* パーキングブレーキ

- ・ ブレーキが正常に効き、解除されるか確認。

* 各部ホース

- ・ 油圧ホースやフューエルホースに、亀裂、漏れがないか確認。

* エンジンオイル

- ・ エンジンオイルが適量入っているか確認。
- ・ エンジンオイルが汚れていないか確認。

* フューエル

- ・ ガソリンが入っているか確認。
- ・ フューエルタンク内に水が溜まる事があります。水が溜まっている事が確認できたら、タンク下のプラグを外しタンク内の水を排出して下さい。

* 給油

- ・ 給油時は、エンジンを停止しメインスイッチOFFにして行って下さい。
- ・ **規定給油量は、12.0リットル**です。
規定給油量以上の給油は、機体が傾斜した時に溢れる可能性があります。規定給油量以上給油しないで下さい。
- ・ 給油後は、給油口キャップを確実にしめて下さい。

7. 積み込み・積み下ろし・運搬

- パワーゲートに不具合がある場合は、機体の落下や重大な事故になる恐れがあります。日常からパワーゲートの点検・整備をお願いします。

- **トラックへの積み込み**

- * 積み込み作業は、必ず平坦地で行って下さい。
- * ブレードカバー及びブレードは、機体から必ず外して積み込んで下さい。
- * パワーゲートに機体を載せゲートを昇降させる時は、必ず

- ・ ブレーキを掛ける
- ・ エンジンを停止する
- ・ チェンジレバーを切断レンジに入れる

上記の状態のパワーゲートの操作をして下さい。

- * 荷台に積載後、チェンジレバーを切断レンジにしブレーキを掛けロープ等でしっかりと固定して下さい。

- **運搬**

- * 急発進、急ブレーキ、急ハンドル等しないよう、安全運転に心掛けて下さい。

- **トラックから積み下ろし**

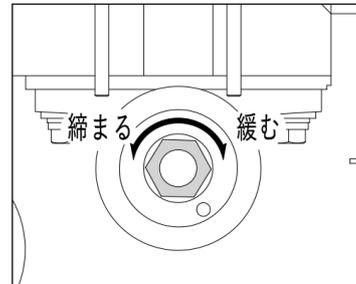
- * パワーゲートの端部に、落下防止のストッパーなどを設けて下さい。
- * 手動走行での移動はしないで下さい。

- 積み込み・積み下ろしの際ゲートの上に機体がある時、機体の後ろに立って機体操作をしないで下さい。重大な事故になる可能性があります。
機体落下の危険を感じたら直ぐに逃げて下さい。

8. 切断作業

● ブレードの取り付け

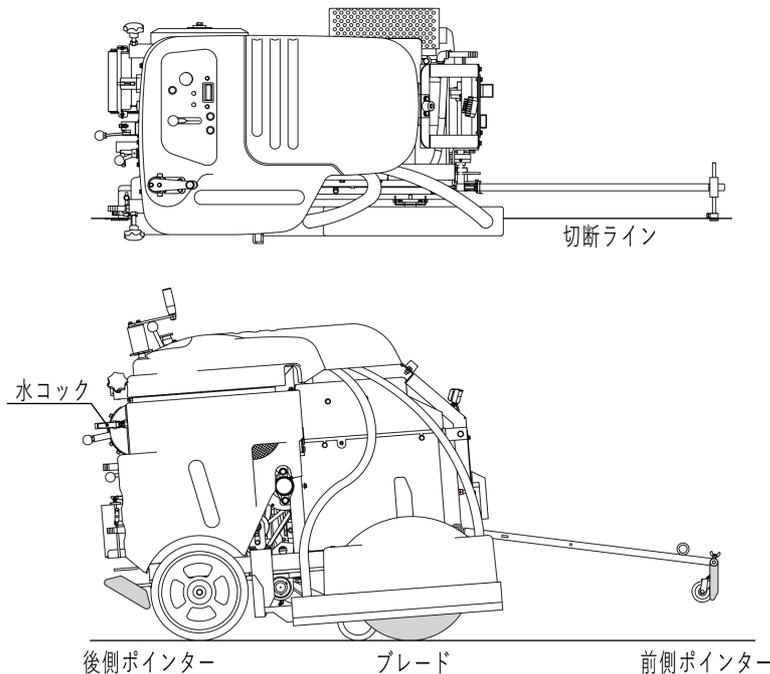
- * コンクリートカッター用に設計された、ブレードをお使い下さい。
- * クラックやチップ飛び等、破損したブレードは使用しないで下さい。
- * フランジナットはM24（対辺36）左ねじになります。
（センター給水仕様は、M27（対辺41）左ねじ）
- * フランジナットは、付属部品のスパナとテンショナーロッドで締め付ける。
（締め付けの際、手や指を叩かないよう注意して下さい。）



● ブレードカバーを装着する

● 切断ラインに合わせる

- * ゲージを前に出し、前側のポインター、ブレード、後側のポインターの位置を切断ラインに合わせる。

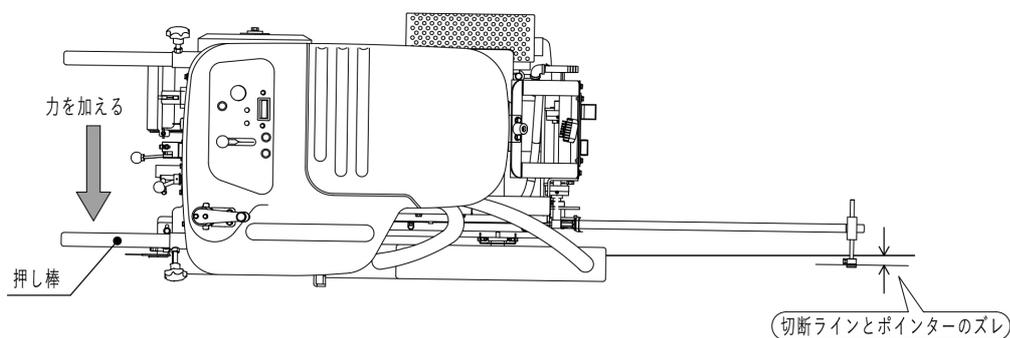


● ブレード冷却水の供給と切断汚泥の吸引

- * 機体に給水ホースと排水ホースを繋ぎ、水タンク側と機体の水コックを開きブレードカバーから水が出るのを確認。
- * エンジンを始動し、エンジン回転数をアイドル状態でバキュームスイッチを入れる。

● 切断

- * ボリューム操作でエンジン回転数を適性周速にし、昇降レバー操作でゆっくりとブレードを下ろしていく。
- * 前後進スピードレバーの操作で切断開始。切断速度が速過ぎ、過度の押し過ぎがあるとブレードの破損やブレードが切断ラインから外れ、真っすぐ切断できない可能性があります。
- * 切断中、切断ラインとポインターにズレが生じた場合、押し棒に力を加えずれの修正をして下さい。



● 切断後

- * 切断終了後、前後進スピードレバーを中立位置にし、昇降レバー操作でゆっくりとブレードを上げる。
- * エンジン回転数をアイドリング状態にし、バキュームスイッチを切り水コックを閉める。
- * エンジンを停止し、ブレードカバー及びブレードを外す。
(機体及びブレード等熱くなっています。十分注意して下さい。)

9. 作業後点検・整備・清掃

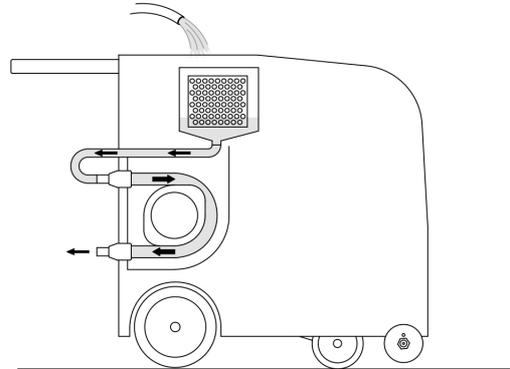
● バキュームタンク，チューブホース

* 作業後に、ブレーキを掛けエンジンを始動、バキュームスイッチONの状態

- ・ バキュームタンク内
- ・ 砂利かご
- ・ チューブホース内
- ・ 排水ホース内

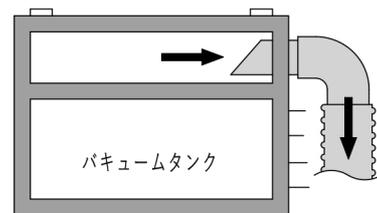
を清水で洗って下さい。

* 付着，滞留している汚泥が固着する前に洗い流し、チューブホース内の水をなるべく排出させて下さい。



● ブロアー

* 作業後にエンジン回転数をアイドリング状態で、バキュームタンクのブロアー吸入口に清水を流しブロアー内及び、ダクトホース内を洗浄して下さい。

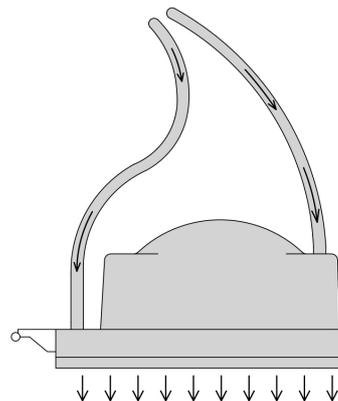


● ブレードカバー

* 作業後に

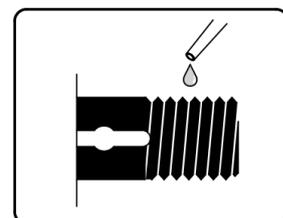
- ・ ブレードカバー内側
- ・ 底面
- ・ バキュームホース内
- ・ 汚泥通路内

に付着，滞留している汚泥を固着する前に洗い流して下さい。



● ブレードシャフトねじ部

* 泥や埃がネジ山に付いた状態でナットを締め付けると、オネジとメネジの噛みこみやネジ山が摩耗してしまいます。作業前，作業後にねじ部への注油，3日に1度ワイヤーブラシ等で洗浄して下さい。



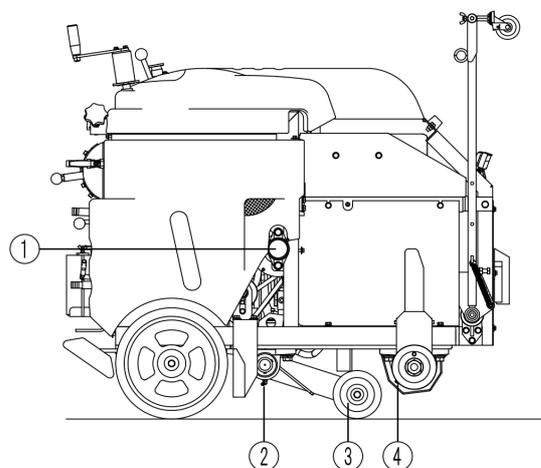
10. 定期点検

- より良く安全にご使用して頂くため、定期的に点検、整備を実施して下さい。

ガソリン	フューエルタンク水抜き
エンジンオイル	交換目安：初回10時間 以降50時間 毎 種類：エンジンオイル 10W-30 相当品 油量：1.5ℓ（フィルター同時交換時 1.7ℓ）
オイルフィルター	交換目安：2ヶ月又は、100時間 毎
エアエレメント	清掃：1ヶ月又は、50時間 毎 交換目安：6ヶ月又は、300時間 毎
走行ミッション	種類：ギヤオイル 80W-90 相当品 油量：2ℓ
HST	種類：エンジンオイル SE10W-30 相当品 油量：350mℓ *オイル交換時は、エア抜き作業もお願いします。
油圧パッケージ	種類：ハイドロオイル ISO32 相当品 油量：800mℓ
ポンプユニット	種類：NAKAYAMA純正オイル 油量：500mℓ *ポンプオイルは、水溶性です。廃棄される場合は、各地域のルールに沿って廃棄して下さい。
パーキングブレーキ	不具合がある場合は、直ぐに整備を行って下さい。
グリスアップ	ブレードシャフトピロー 30時間 毎 前車輪アームピロー 200時間 毎 カウンターシャフトピロー 30時間 毎 前車輪 100時間 毎 *はみ出てきたグリスは、綺麗に拭き取って下さい。
油圧ホース 電装線	交換目安：5年を目安に交換をお勧めします。 *樹脂部分の経年、温湿度、摩擦などによる変質や破損の可能性あります。

● グリスアップ箇所

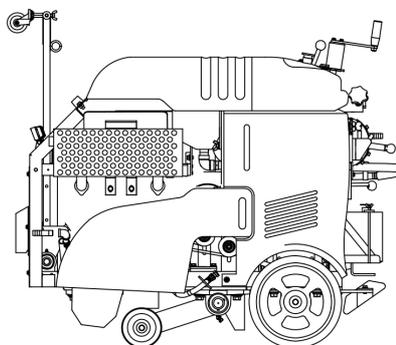
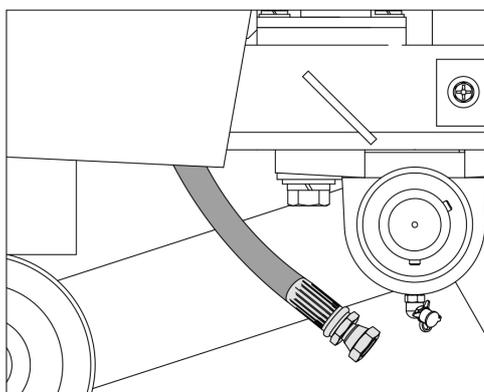
定期的に各部適量を注油して下さい。



- ① カウンターシャフトピローブロック 2ヶ所
* FRPリアカバーを外す
- ② 前車輪アームピローブロック 2ヶ所
- ③ 前車輪 2ヶ所
- ④ ブレードシャフトピローブロック 2ヶ所

● エンジンオイル交換

* 機体側面にドレンホースが格納してあります。廃油を入れる容器を用意し、ドレンホースよりエンジンオイルを抜いて下さい。

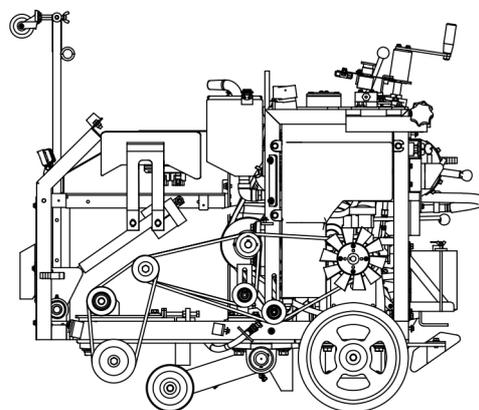
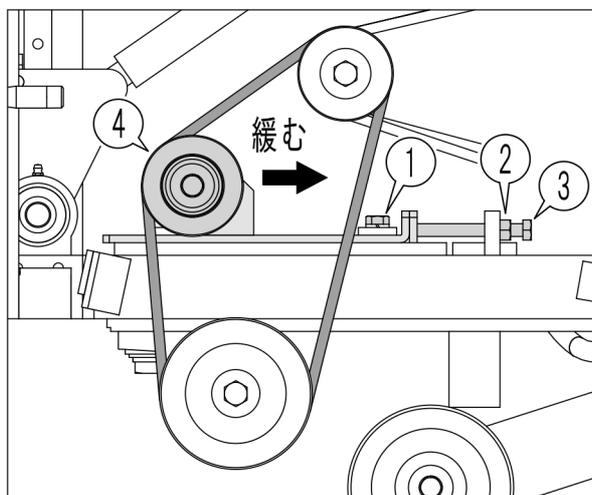


エンジンオイルを入れる時は、機体を水平にして溢さないようにゆっくり入れて下さい。

1 1. ベルト交換

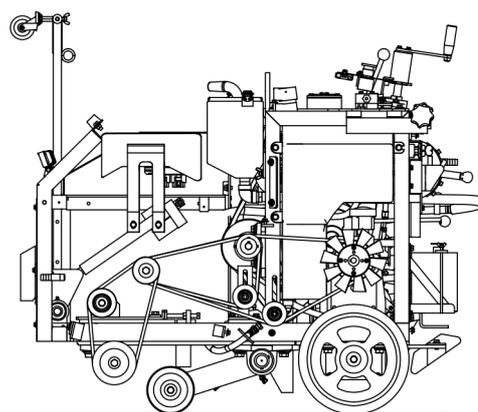
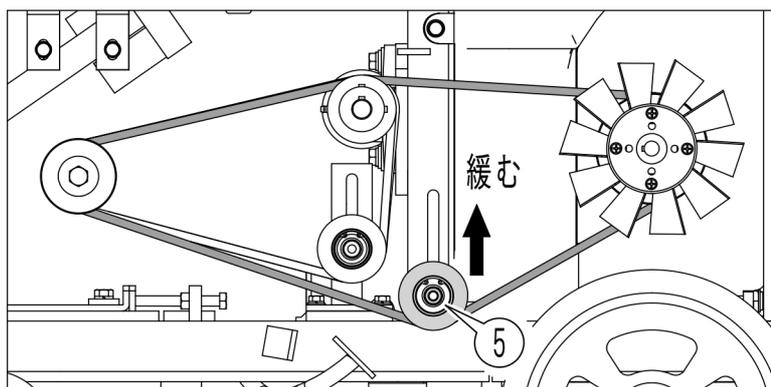
● バッテリーのマイナス端子を外して、作業を実施して下さい。

● エンジン～ブレードシャフト (3V335)



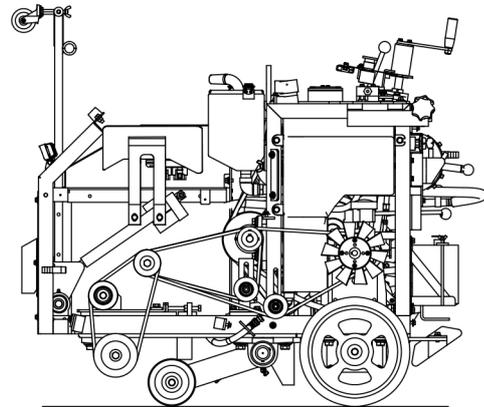
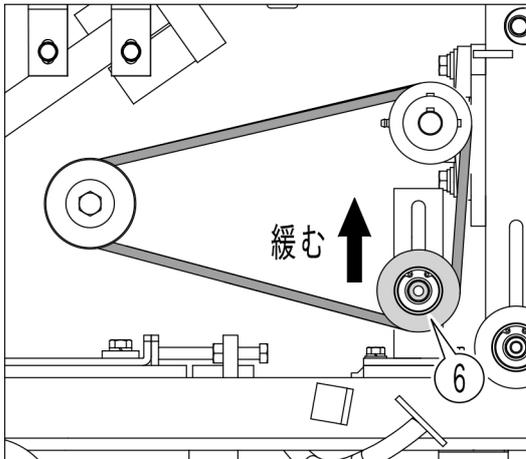
1. FRPベルトカバーと鉄製ベルトカバーを外す
2. ①の六角ボルト（対角17）2ヶ所を緩める
3. ②の六角ナット（対角17）を緩め、③の六角ボルト（対角17）を緩める
4. ④のテンションプーリーをスライドさせ、ベルトを外す

● エンジン～HST (3V560)



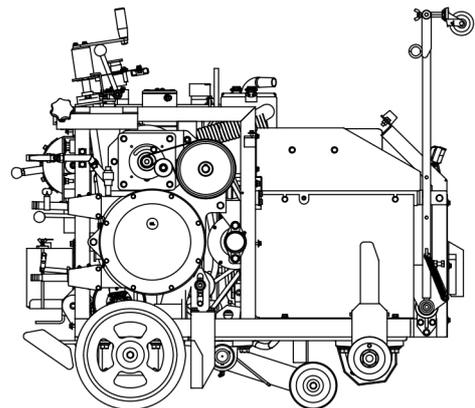
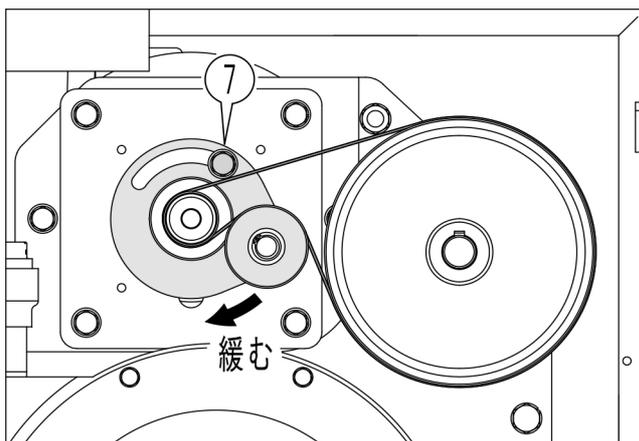
1. FRPリアカバー，FRPベルトカバー，鉄製ベルトカバーを外す
2. エンジン～ブレードシャフトに掛かるベルト（5本）を外す
3. ⑤の六角ボルト（対辺17）を緩め、Aベルトテンションプーリーをスライドさせベルトを外す

● エンジン～カウンターシャフト (3V335)



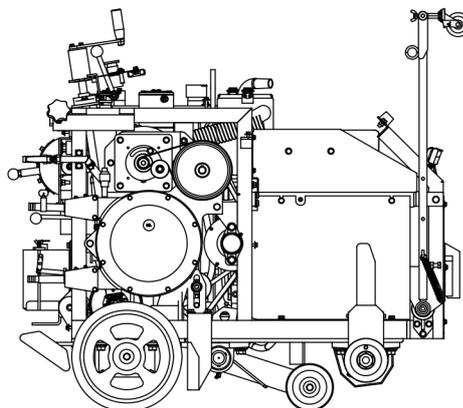
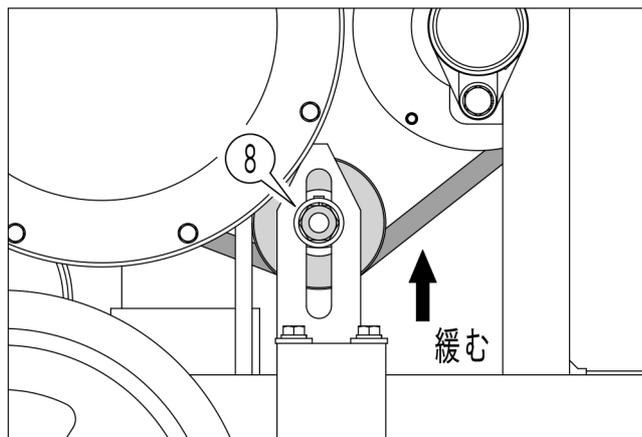
1. FRPリアカバー, FRPベルトカバー, 鉄製ベルトカバーを外す
2. エンジン～ブレードシャフトに掛かるベルト (5本)
エンジン～HSTに掛かるベルトを外す
3. ⑥の六角ボルト (対辺17) を緩め、Aベルトテンションプーリーをスライドさせベルトを外す

● ブロアーベルト (FL670)

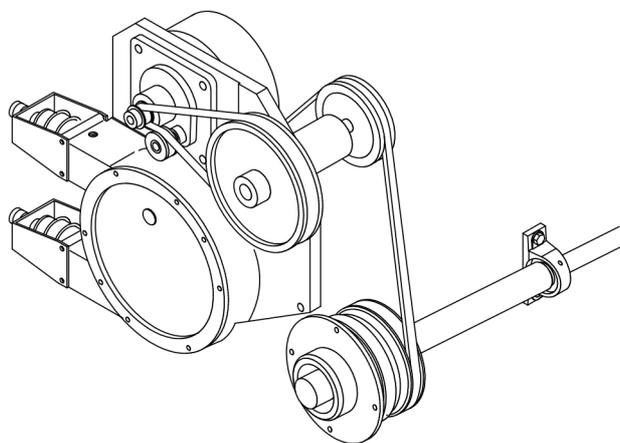
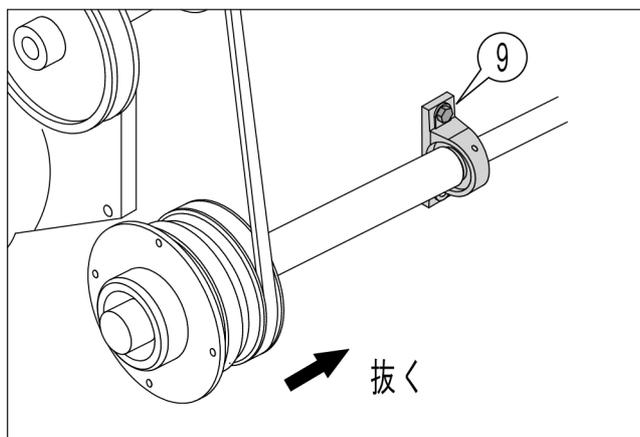


1. FRPサイドカバーを外す
2. ⑦のボルトを緩め、テンションブラケットをスライドさせベルトを外す

● 減速機～カウンターシャフト (B47)



1. FRPリアカバー，サイドカバーを外す
2. ⑧六角ナット（対辺22）を緩めてプーリーをスライドさせ、ベルトを外す
3. カウンターシャフトのプーリーに掛かっている
エンジン～HSTのベルト
エンジン～カウンターシャフトのベルトを外す



4. カウンターシャフトのプーリー側ピローブロックの位置に、ケガキ線を引き
⑨六角ボルト（対角17）2ヶ所を外し、ピローブロックとフレームの隙間
からベルトを抜く

1 2. 長期間使用しない場合

- 機体を長期間（約1ヶ月以上）使用していない状態のまま動かすと、オイルの乾きや各部の固着などにより、機体動作に不具合が生じる恐れがあります。

* 週に1度10～20分程度は、

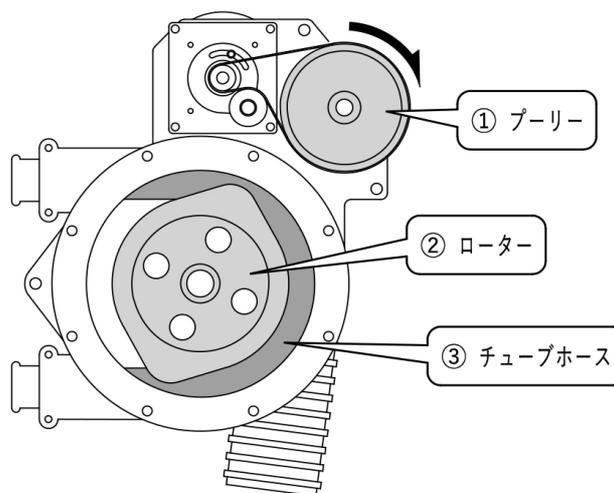
- ・ エンジン
- ・ 前後進
- ・ 油圧の昇降
- ・ バキューム機構

など機体を動かし、不具合を未然に防ぐ事をお勧めします。

1 3. 長期間放置してしまった時

- バッテリーの確認を行ってください。
- エンジンを始動をする前に、FRPサイドカバーを外し、ポンプユニットの①プーリーを手で矢印の方向に回す。
- ①プーリーを回すと②ローターが回るので、ローターを2～3周回してチューブホースにオイルを馴染ませる。

ポンプユニット



以上の作業を行ってください。

- * その他プーリー各部は、ベルトを緩めてプーリーを手で回すなど固着がないか確認してからエンジンを始動し、本機をお使い下さい。

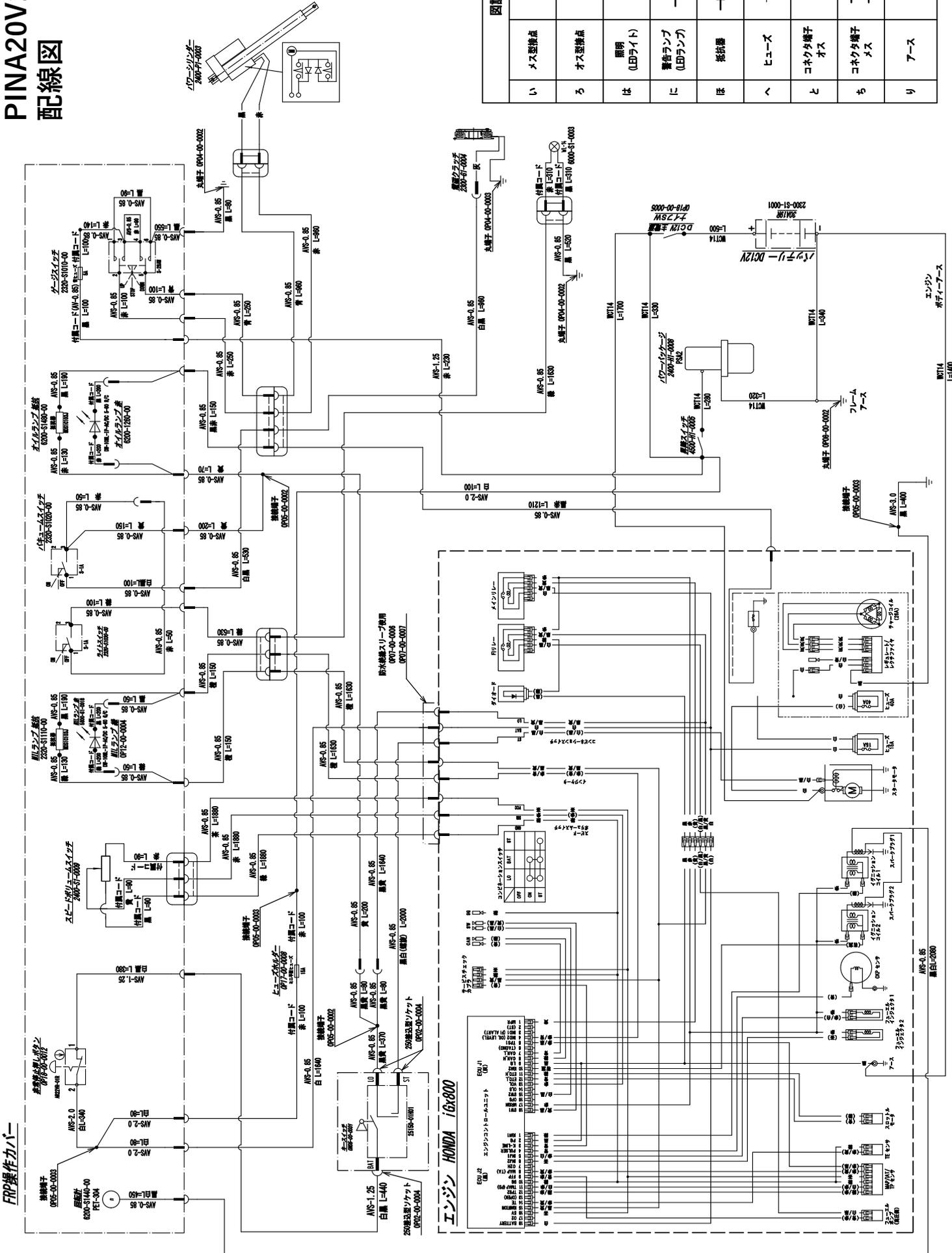
14. トラブルシューティング

機能	現象	原因	処置
バ キ ュ ー ム	吸いが悪い	ベルトの緩み、切れ	増し締め、交換
		バキュームスイッチ不良	配線確認、交換
		ブロアー不良	交換
		ブレードカバー目詰まり	掃除
		タンク蓋パッキン不良	交換
		ブロアーパッキン不良	交換
		電磁クラッチ作動不良	配線確認、交換
		ダクトホースの詰まり	掃除、交換
	オーバ ー フ ロ ー	スプリングホースの緩み、穴明き	増し締め、交換
		バキュームタンク目詰まり	掃除
		給水量が多い	給水量調整
	排 出 し な い	バキュームスイッチ不良	配線確認、交換
		スプリングホースの緩み、詰まり	増し締め、交換
		バキュームタンク目詰まり	掃除
ベルトの緩み、切れ		増し締め、交換	
電磁クラッチ作動不良		配線確認、交換	
チューブホース不良		交換	
ローター、減速器不良		交換	
昇 降	上 が ら な い	バッテリー容量不足	充電、交換
		油圧スイッチ不良	当り角度調整、交換
		パッケージブロック不良	分解掃除、交換
		オイル量不足	補充
		パワーパッケージ不良	カーボンブラシもしくは全体交換
		油圧シリンダー不良	交換
		前輪アームクレビス変形	修正、交換
	下 が ら な い	油圧シリンダー不良	交換
		パッケージブロック不良	分解掃除、交換
		前輪アームクレビス変形	修正、交換
走 行	遅い又は 走らない	ベルトの緩み、切れ	増し締め、交換
		HSTエア混入	油補充およびエア抜き
	真直ぐ走行 しない	前後車軸の芯ずれ	芯出し調整
	ブレーキの 効が悪い	走行ミッションブレーキ不良	交換

機能	現象	原因	処置
ゲージ	昇降しない	パワーシリンダー不良	交換
		ゲージスイッチ不良	配線確認、交換
		ヒューズ切れ	交換
		配線接触不良	嵌め合わせ確認
		バッテリー容量不足	交換
	パワーシリンダー脱落	取付け部破損	シリンダーケース交換
カップリング	頻繁に壊れる	芯合わせ不良	芯だし
電装	タコメーター	タコメーター不良・配線不良	交換
その他	音, 振動が増大した	各部ベアリング劣化	グリスアップもしくは交換
		プーリー, シャフト嵌め合い不良	どちらか1方もしくは両方交換
		シャフトの劣化	交換
		フランジの劣化	傷修正もしくは交換
	切断ラインから外れる	軸受け(ピロブロック)劣化	グリスアップもしくは交換
		押し込み過多	送りスピード調整
		ブレード周速度の不適合	適切な周速に調整
	エンジンが掛からない	シャフト, 前後車軸の芯ずれ	芯出し調整
		バッテリー容量不足	交換
		イグニッションキースイッチ不良	交換
		ヒューズ・リレー不良	交換
		セルモータ不良	交換
		非常停止が掛かっている	非常停止スイッチの解除
フューエルタンク内の水を吸い上げる	フューエルタンク内の水抜き		

* 仲山鉄工株式会社のホームページにも、トラブルシューティングや資料を掲載しています。そちらもご覧ください。

PINA20V2024 配線図



記号	名称	図記号
い	メス接続点	—
ろ	オス接続点	—
は	照明 (LEDライト)	⊗
に	警告ランプ (LEDランプ)	⚡
ほ	接続器	□
へ	ヒューズ	—
と	コネクタ端子 オス	⌋
ち	コネクタ端子 メス	⌋
り	アース	⊥

PINA切断周速目安表

ブーリー比 $\phi 75/\phi 120$

エンジン回転数 rpm	ブレード回転数 rpm	ブレード周速 m/min			
		12"	14"	18"	22"
2200	1375	1316	1535	1974	2413
2400	1500	1436	1675	2153	2632
2600	1625	1555	1814	2333	2851
2800	1750	1675	1954	2512	3071
3000	1875	1795	2094	2692	3290
3200	2000	1914	2233	2871	3509
3400	2125	2034	2373	3051	3729
3600	2250	2153	2512	3230	3948

(m/min)

ブレードメーカー推奨周速

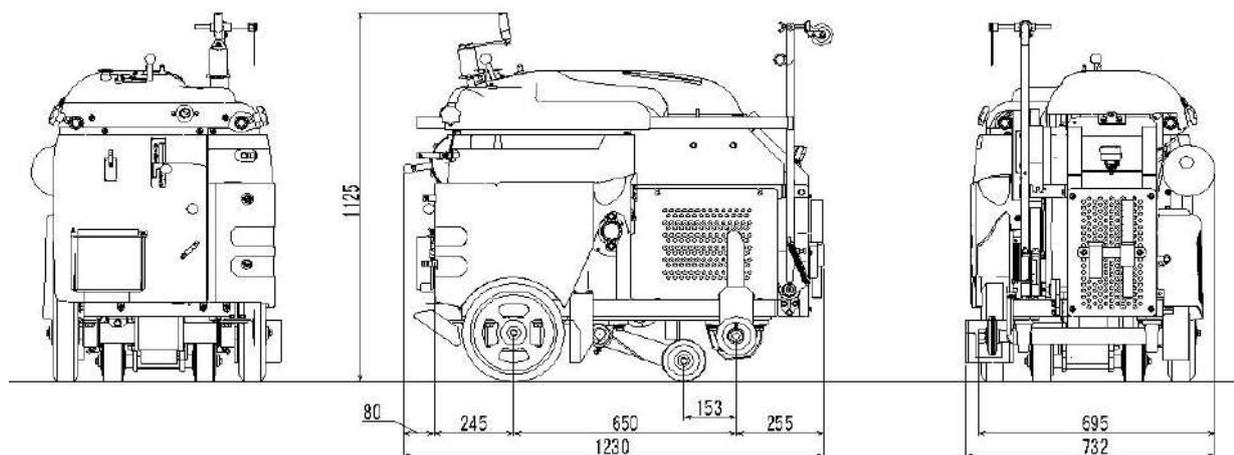


コンクリート推奨周速 (1,900~2,400m/min)

アスファルト推奨周速 (2,500~3,000m/min)

PINA20V2024 仕様書

型式	PINA20V2024
搭載エンジン	HONDA iGX800 空冷4サイクルV型2気筒 779cc 電子制御燃料噴射方式
最大出力	18.6kW/3,600min ⁻¹
連続定格出力	16.6kW/3,000min ⁻¹
本体サイズ	1,280L x732W x1,125H (mm)
重量	361kg
最大切削深さ	200mm
深さ調節	油圧昇降式
走行	HSTレバー調整 前進：切削 0～1.2km/h 廻送0～4km/h 後進：切削 0～0.5km/h 廻送0～1.5km/h
バキュームユニット	吸気量：2.0m ³ 排水ポンプ吐出量：8L/min
燃料タンク	12Liter
ブレードカバー	12”、14”、18”、22”



〒426-0055

静岡県藤枝市大西町3丁目 1 4 - 1

仲山鉄工株式会社

TEL : 054 (635) 1383

FAX : 054 (635) 0418

URL : <https://www.nakayama-azz.co.jp>

E-mail : info@nakayama-azz.co.jp